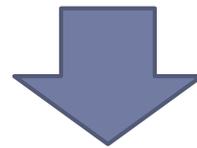

伊豆の国市における3歳児のう蝕罹患状況と その要因について

伊豆の国市健康づくり課 入佐水萌 小川莉奈 小早川瞳
東部健康福祉センター 健康増進課 赤堀摩弥
浜松医科大学 健康社会医学講座 柴田陽介

背景と目的

- ・虫歯のリスクとなる生活習慣について指摘される児が増えた
- ・1歳半健診と3歳児健診は法定健診であり、市内ほぼ全ての対象児の口腔状況や生活習慣の把握ができる



1歳半健診時の生活習慣が3歳児健診時のう蝕罹患状況に与える影響を確認

方法

- ① 1歳半健診時の生活習慣と3歳児健診時でのう蝕罹患状況を乳幼児歯科管理カードの項目から拾い、クロス集計を行った
- ② カイ二乗検定を行い、う蝕罹患の有意差を調べた
- ③ クロス集計で5以下のセルがあった要因についてはフィッシャーの正確確率検定を行った

【分析に用いた生活習慣の項目】

- ・母乳の有無
- ・哺乳瓶使用の有無
- ・飲み物の種類
- ・間食の種類
- ・間食の頻度
- ・仕上げ磨きの有無
- ・フッ化物塗布希望の有無

方法

飲み物の種類、間食の種類の2項目については、以下の基準で回答を2値化して用いた。

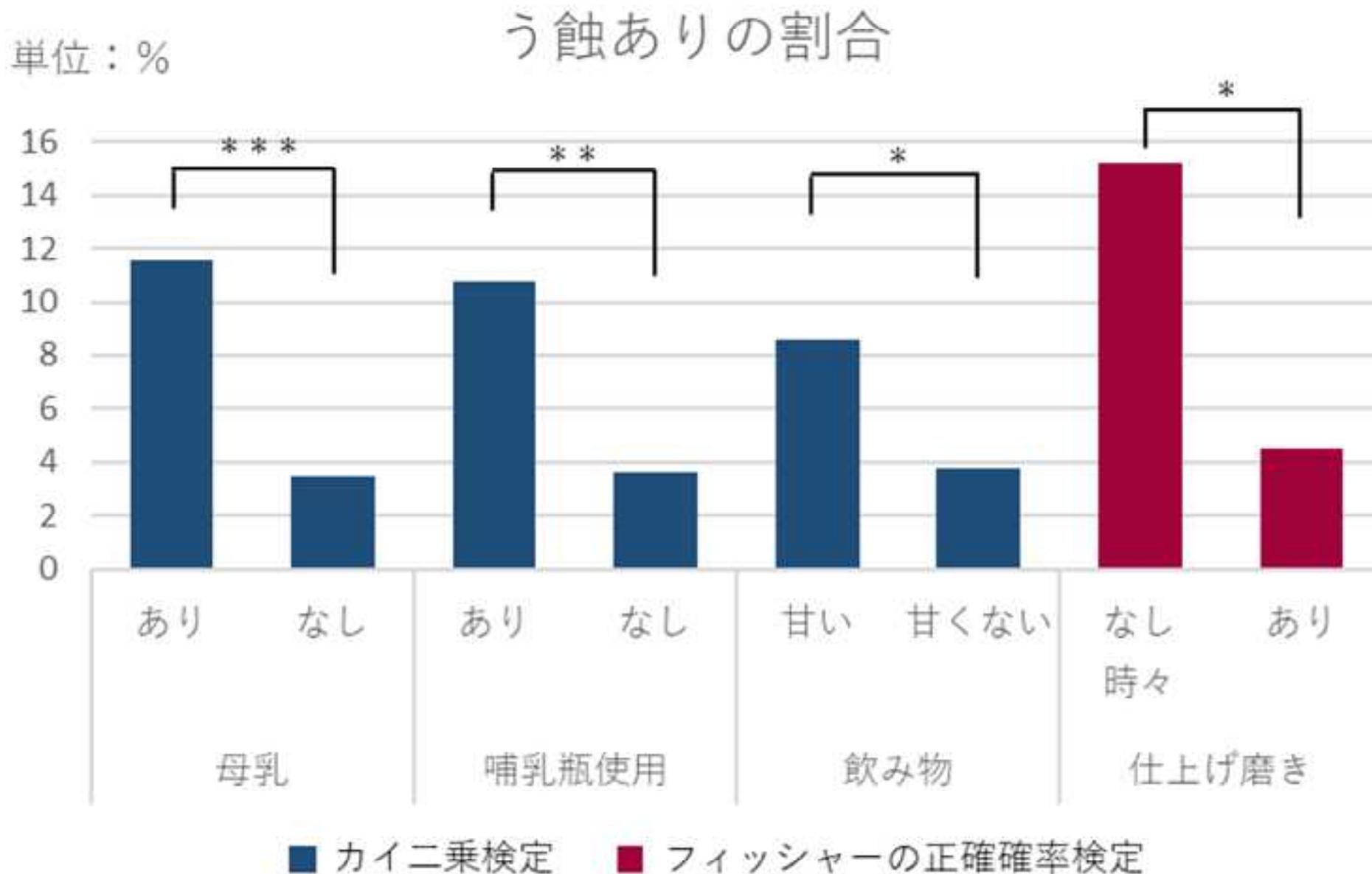
◆「飲み物の種類」の2値化の基準

甘い飲み物	甘くない飲み物
ジュース、イオン飲料、ジョア、野菜ジュース、乳酸菌飲料、ヤクルト、スポーツ飲料、梅シロップ、R1、スポン	水、お茶、麦茶、牛乳、豆乳、黒豆茶、ルイボスティー、白湯、フォローアップミルク

◆「間食の種類」の2値化の基準

虫歯になりやすい	虫歯になりにくい
飴、カステラ、クッキー、グミ、ゼリー、チョコ、ビスケット、ラムネ、卵ボーロ、ボーロ、チョコチップパン、ウエハース、ケーキ類、バナナチップ、いもけんぴ、ラスク	アイス、芋、おにぎり、おせんべい類(ハイハイ)、スナック菓子類(かっぱえびせんなど)、パン、食パン、ヨーグルト、果物類、プリン、ポン菓子、小魚、蒸しパン、ホットケーキ

結果



N=1037 *** : P<0.001 ** : P<0.01 * : P<0.05

考察

■ 母乳

要因

- ・離乳食が進んでいない
- ・寝かしつけに母乳を飲ませている

- ・母乳後の口腔ケアの不十分さ
- ・長期間の卒乳の遅れ
- ・授乳回数の多さなどの授乳習慣

早い段階から授乳・離乳についての
支援をしていく必要がある

考察

■ 哺乳瓶使用の有無・飲み物の種類

要因

- ・ 歯垢が付着した歯に乳糖が加わる
- ・ 哺乳瓶で砂糖を含む飲み物を飲む



哺乳瓶の中身、授乳前の歯磨きの確認が必要
早い時期からの甘い飲み物の摂取について指導する

■ 仕上げ磨きの有無

要因

- ・ 毎日行えない保護者がいる



1歳半健診時に仕上げ磨きの習慣の確認、ハイリスクアプローチが必要

限界

- 聞き取りデータは、個人差、記入漏れ、聞き忘れを防ぐのが難しい
- 間食や飲み物の種類は多岐にわたり、分類の仕方が結果に影響を与える可能性がある
- 世帯状況や昼間の保育者などの環境要因の影響は確認できない

強み

- 今回の研究方法：後ろ向きコホート研究
1歳半健診での要因が3歳児健診でのう蝕罹患に影響を与えるという関係が逆転することがない

まとめ

1歳半健診時の生活習慣の中でも3歳児健診時の
う蝕罹患状況に影響を与えているもの



母乳の有無

与えている飲み物の種類

哺乳瓶使用の有無

仕上げ磨きの頻度



早い段階で、リスクとなる生活習慣に対して
普及啓発や個々の家庭にあった支援が必要である

謝辞

本研究の実施にあたり種々ご教示を賜りました。
この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。

浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島俊之先生

浜松医科大学 健康社会医学講座 高杉 友 先生

静岡県立大学 食品栄養科学部 公衆栄養学研修室 串田 修 先生

静岡社会健康医学大学院大学 佐々木八十子先生

地域診断研修参加の皆さま

研修を企画してくださった 静岡県健康政策課の皆さま

誠にありがとうございました。
